

No.	報告受理日	一般名	患者 性別	年代	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査 (年月)	投与後検査 (年月)	企業投与前 検査	企業投与後 検査	受血者個別 NAT	献血者個別NAT	備考
59	2007/10/11	新鮮凍結人血漿	男	40	消化器疾患	C型肝炎	07/01	-	HCVコア抗原 (-) HCV-Abs(-) (07/01) HCV-Abs(-) (07/04) HCV-RNA(+) (07/08) HCV-Abs(+) (07/08)	HCV-RNA(-) (07/01)	-	陰性(輸血 前) 陽性(輸血 後)	保管検体2本全 部HCV-RNA (-)	
60	2007/10/11	白血球除去人赤血球浮遊液 白血球除去人赤血球浮遊液(放射線 照射) 人血小板濃厚液 人血小板濃厚液(放射線照射) 新鮮凍結人血漿	女	70	血液腫瘍	B型肝炎	05/01-07 05/02-05 05/07 05/02-07 05/08	HBsAg(-) HBcAb(-) (06/01) HBsAg(-) HBcAb(-) (06/01)	HBsAg(-) HBcAb(-) (05/08) HBsAg(-) (08/03) HBsAg(+) HBcAb(+) (08/08) HBsAg(-) HBcAb(-) (07/08) HBsAb(+) (07/08)	-	-	-	保管検体47本 全部HBV-DNA (-)	
61	2007/10/15	人血小板濃厚液(放射線照射)	女	50	血液腫瘍	細菌感染	07/09	-	発熱(38度→ 38.6度) アナフィラキ シーショック 血圧102/70→ 68/- 脈拍80→122 ※患者血液培 養は陰性	非溶血性副作用関連検査実 施。抗血漿タンパク質抗体検査: 陰性。血漿タンパク質欠損検査: 欠損なし。 投与中止の当該製剤(1本)で細 菌培養試験を実施、陰性。				
62	2007/10/15	人赤血球濃厚液-LR 人血小板濃厚液 人血小板濃厚液(放射線照射)	女	80	血液腫瘍	B型肝炎	07/06-09 07/06-08 07/07	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) (07/05)	HBV-DNA(+) (07/08) HBsAg(+) HBsAb(+) HBcAb(-) HBcAb(+) (07/08)	-	HBV-DNA(+), HBsAg(+), HBsAb(-), HBcAb(+) (07/08)	陰性(輸血 後)	保管検体25本 全部HBV-DNA(-)	
63	2007/10/18	人血小板濃厚液(放射線照射)	男	50	血液腫瘍	菌血症	07/09	菌血症疑いあり (07/09)	悪心、振戦 SaO2 93% ↓ 血圧 160/90 ↑ 体温39度 脈拍140/min ※院内にて (1)患者血培 養→ Eubacterium p.焼出 (2)投与中止 の当該製剤を 用いた血液培 養→陰性	非溶血性副作用関連検査実 施。抗血漿タンパク質抗体検査: 陰性。血漿タンパク質欠損検査: 欠損なし。抗HLA抗体検査:クラ スII(+), クラスIII(-) (輸血血液はクラスI・IIともに(-)) 投与中止の当該製剤(1本)で細 菌培養試験を実施、陰性。				